

第59回原子爆弾後障害研究会

日時：2018年6月3日

場所：長崎原爆資料館

	講演集	長崎医誌 (2018年)	文献 番号
特別講演			
永井隆博士生誕 110 周年『原爆被災から原発事故対応への教訓』 山下 俊一	1～6	93 : 247-252	2464
シンポジウム			
1 福島県「県民健康調査」の概要と課題 神谷 研二	7～14	93 : 253-260	2465
2 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学研究：特に甲状腺がん調査について 今泉 美彩・祖父江友孝・谷口 信行・宮川めぐみ・百瀬 琢磨・ 吉永 信治・喜多村紘子・大久保利晃	15～17	93 : 261-263	2466
3 福島県における若年者甲状腺癌の遺伝子変異プロファイル 光武 範吏・松瀬美智子・Vladimir Saenko・鈴木 眞一・山下 俊一	18～21	93 : 264-267	2467
一般演題			
1. 被爆者健康講話参加者の経時的変化と背景因子の評価 山口 拓允・新川 哲子・佐藤 奈菜・井手 貴浩・大石 景子・ 永富 麻悟・浦田 秀子・折田真紀子・平良 文亨・高村 昇	22～25	93 : 268-271	2468
2. 被爆者の語りを類型化する試み 三根真理子・横田 賢一・近藤 久義・佐藤 健一	26～31	93 : 272-277	2469
3. 原爆診療録のデータベース保存と現在の電子カルテとの照合 藤原 恵・吉川 善也	32～36	93 : 278-282	2470
4. 原爆記録映画「広島・長崎における原子爆弾の影響」について医学調査映像を中心に 久保田明子・杉原 清香・田代 聡	37～41	93 : 283-287	2471
5. 原爆キノコ雲とフォールアウト分布の形成過程について（その2） 高木 信彦	42～48	93 : 288-294	2472
6. The role of splicing factors SF3B1 and PRPF8 in DNA double-strand break repair by homologous recombination Aizhan SHAKAYEVA・Motohiro YAMAUCHI・Miyako HIRAKAWA・ Naoki MATSUDA	49～55	93 : 295-301	2473
7. Experimental trials for the chromosome aneuploidy correction in Down Syndrome cell lines Silvia Natsuko AKUTSU・Tatsuo MIYAMOTO・Hirofumi OHASHI・ Shinya MATSUURA	56～60	93 : 302-306	2474
8. クロマチン構造変換因子による染色体転座形成の抑制機構 孫 継英・木野村愛子・時 林・堀越 保則・福戸 敦彦・田代 聡	61～64	93 : 307-310	2475
9. 7q 欠失白血病の責任遺伝子 Samd9L の機能解析 長町安希子・金井 昭教・稲葉 俊哉	65～67	93 : 311-313	2476
10. ゲノム損傷依存的RAD51 核内フォーカス形成の制御機構 堀越 保則・福戸 敦彦・孫 継英・時 林・田代 聡	68～70	93 : 314-316	2477
11. 長崎市原爆被爆者における既往症有病率と被爆距離との関連 近藤 久義・横田 賢一・三根真理子・高村 昇	71～74	93 : 317-320	2478
12. 被爆者健診発見肺癌における健診時アルブミン・グロブリン比と予後に関する検討 平野 千尋・加藤 博也・石田 啓・佐々木伸夫・内藤久美子・ 前田 亮・藤原佐枝子	75～78	93 : 321-324	2479
13. 被爆初期における直接死因についての検討～剖検症例の骨髄所見より 杉原 清香・久保田明子・田代 聡	79～82	93 : 325-328	2480
14. 被災直後の原子爆弾災害調査のデータベース化と再解析 横田 賢一・三根真理子・近藤 久義・宮崎 泰司	83～87	93 : 329-333	2481

15. 低線量率放射線被ばくの造血システムに対する放射線障害の解析 大野 芳典・竹立 恭子 郭 芸・菅野 雅元・白須 直人・ 安永晋一郎・大坪 素秋・瀧原 義宏	88~90	93 : 334-336	2482
16. 遺伝的背景が <i>Apc</i> ^{min/+} マウスの小腸腫瘍誘発における及ぼす影響 笹谷めぐみ・神谷 研二	91~93	93 : 337-339	2483
17. 低酸素応答シグナルと放射線応答 谷本 圭司・島本 和美・小田 千代・廣橋 伸之	94~97	93 : 340-343	2484
18. ゼブラフィッシュの初期発生過程における放射線応答機構 本庶 仁子・一戸 辰夫	98~99	93 : 344-345	2485
19. 入市被爆者の誘導放射線被曝量—染色体異常率から推定 0.8~1.9Sv を示した 4 症例を中心に— 鎌田 七男・齋藤 紀	100~104	93 : 346-350	2486
20. 長崎原爆被爆者における骨髓異形成症候群の染色体解析 蓬萊真喜子・佐藤 信也・松尾 真稔・岩永 正子・田口 正剛・ 糸永 英弘・安東 恒史・澤山 靖・今泉 芳孝・波多 智子 吉浦孝一郎・宮崎 泰司	105~108	93 : 351-354	2487
21. 長崎原爆被爆者の被爆による日光角化症の発症について 宿輪 哲生・相川 忠臣・鳥山 史・重松 和人・鶴崎 俊文・ 横田 賢一・三根真理子・重 俊博・谷口 英樹・平野 明喜	109~114	93 : 355-360	2488
22. 新生仔ラット甲状腺の電離放射線への感受性 藤本 成明・松山 睦美・中島 正洋	115~116	93 : 361-362	2489
23. 放射線被ばくによる脂肪性肝障害と放射線影響 鈴木 啓司	117~120	93 : 363-366	2490
24. アミノ酸混合物シスチン・テアニン放射線防護効果：前投与による急性小腸・骨髓障害と長期生存率への影響 松山 睦美・七條 和子・土屋 誉・米田 純也・近藤 久義・ 松田 勝也・三浦 史郎・関根 一郎・中島 正洋	121~123	93 : 367-369	2491
25. 福島県富岡町における避難指示解除後の環境放射能について（外部被ばく評価） 松尾 政彦・平良 文亨・折田真紀子・井出 寿一・新田 義之・ 高村 昇	124~126	93 : 370-372	2492
26. 原子力発電所U P Z内の小中学校教員における放射線リスク認知等の実態調査 堀 裕子・折田真紀子・平良 文亨・高村 昇	127~129	93 : 373-375	2493
27. チェルノブイリ原発事故後の放射能汚染地域周辺に住む医学生の放射線被ばくへのリスク認知 大熊 怜・折田真紀子・平良 文亨・高村 昇	130~132	93 : 376-378	2494